

心の散歩道

277

毎月発行

※ポストに入れさせていただきましたことをお許しくださいませ。

虫の目・鳥の目

子どもを持つ親に必要なものは

「虫の目・鳥の目」といわれます

虫の目とは

ささいな心の変化も見のがさないよう

こまやかに目くばりする

鳥の目とは

少しぐらいいのことは気にせず

おおらかな心で見守る

正反対のこのように思えますが

子育てには この両方の目を

持つことが大切なのです



あふれんばかりの愛情をもって

ときには虫の目 ときには鳥の目と

バランスよく目をかけてあげて

子どもの成長を楽しみたいものです

■私たちの信仰させていただいている神様は

天理王命(てんりおうのみこと)様と申し上げます。

何も無いところから人間世界を創造された神様です。

私たちは、天理王命様を親神様(おやがみさま)と

お呼びして、お慕い申しております。

■天保九年(1838)、親神様の御教えが、教祖(おやさま)

中山みき様によって、初めて伝えられました。

合わせる心

最愛の人でさえも、ささいなことで
関係が悪化したりするものです。

また、夫婦、親子、兄弟姉妹など

一つ屋根の下で暮らす仲であっても

性格のちがいから、反発しあう

こともあるでしょう。

「ふたりの心ををさめいよ

なにかのこともあらはれる」

(みかぐらうた 四下り目二三)

〈二人の心を治めいよ 何かの事をも現れる〉

親なる神様は、おたがいの心を

しっかりと治めることで

なにごとあざやかに

神の守護があらわれてくると

お教えくださいます。

プラス極とマイナス極があって

はじめて電気が発生するように

相対するものが、協力しあって

大きな力が生まれます。

たとえ、むずかしい仲であっても

おたがいの性格を活かす道を探り

心を合わせていく努力をすることで

人間関係だけでなく、私たちの未来をも

明るくしていくことができるのです。

